

Ver 初版

作成 2008-8/17

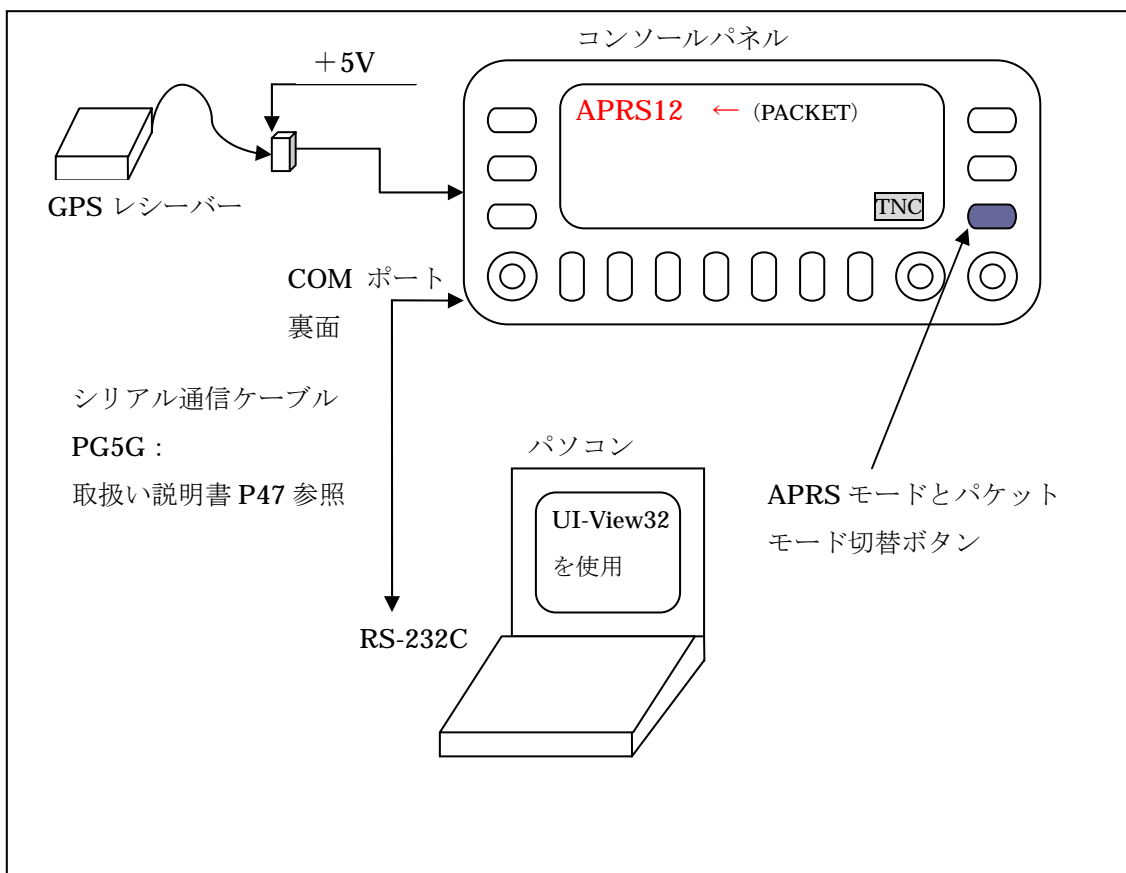
JH1MQJ、JR7QZQ

『KENWOOD TM-D710 APRS を徹底的に使いこなせ！ その1』

NET 環境の無い所でも TM-D710 にパソコンを接続し APRS 情報を画面に表示させる事が出来る。

近くに I-Gate が在れば I-Gate から信号を受信して、NET 環境下での運用時と同じように各局の情報を見る事が出来る。

構成概略図



1. TM-D710 を TNC モードで運用し、Beacon・メッセージ等をパソコンから行う。

TM-D710 とケーブル 1 本で接続できる。

自局位置をリアルタイムに「+」（デフォルト赤色）で表示する。

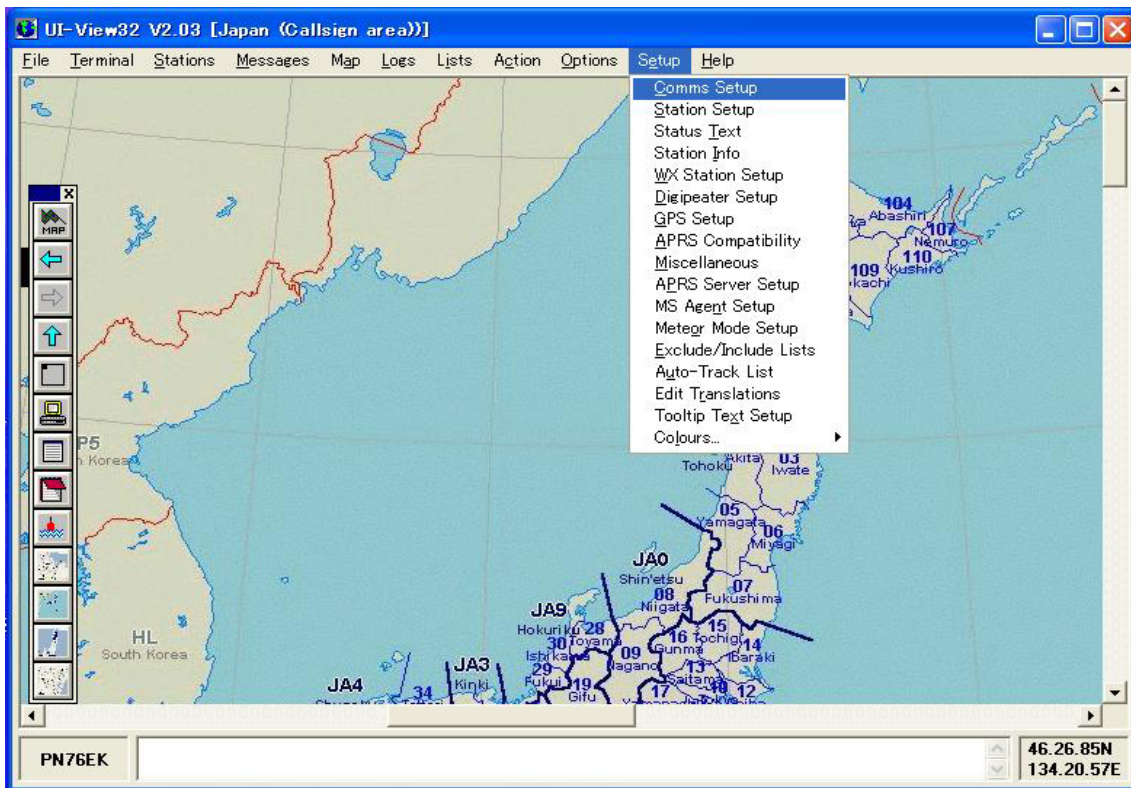
ナビの代用また、近接局（直接波受信）との位置関係も見ることが出来る。

設定はパソコンソフト UI-View32 と TM-D710 がある。

2 Ui-View32.設定の説明

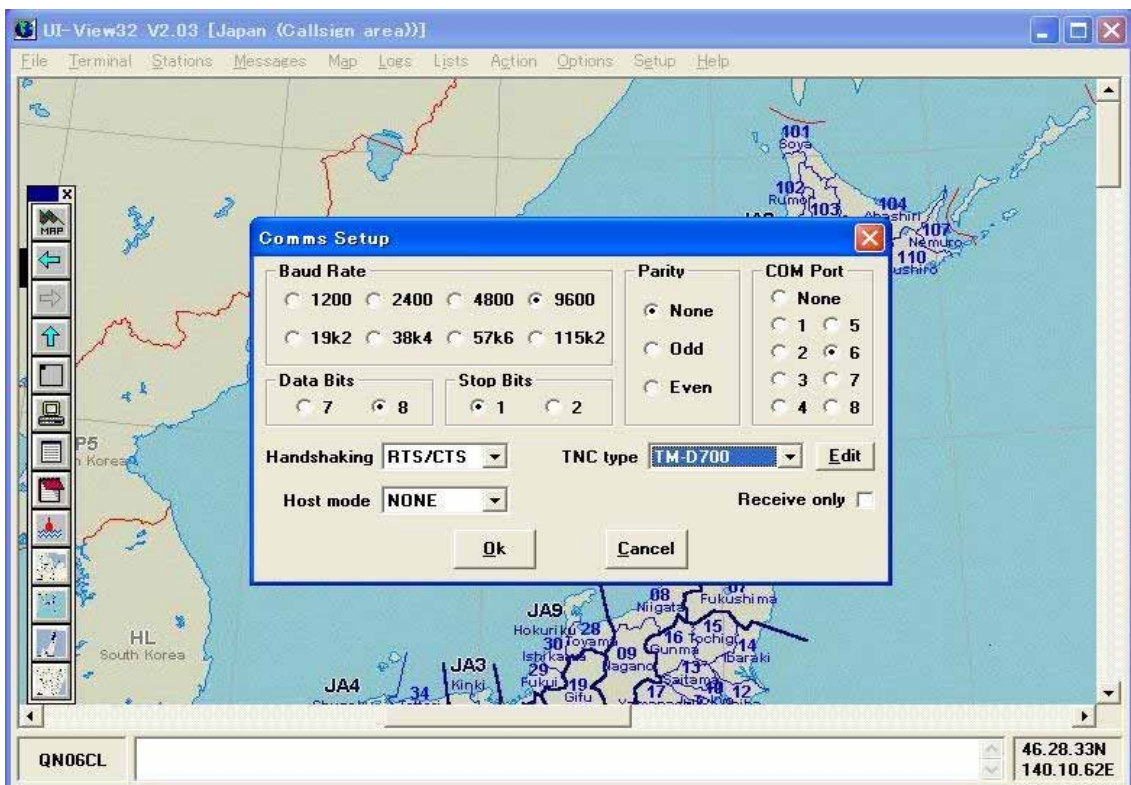
1) 最初に、Ui-View32 の設定から行う。

Ui-View32 の設定 「Setup」 「Comms Setup」

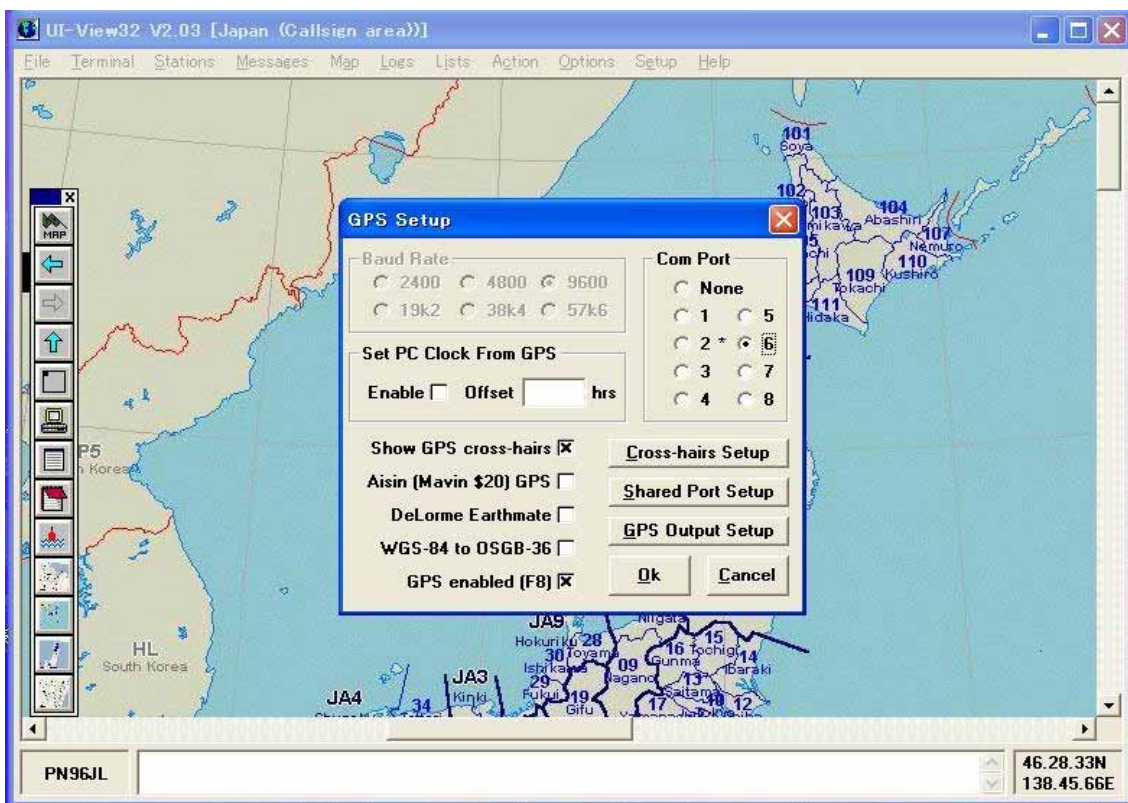


2) パソコンと TM-D710 接続ポート番号を選択

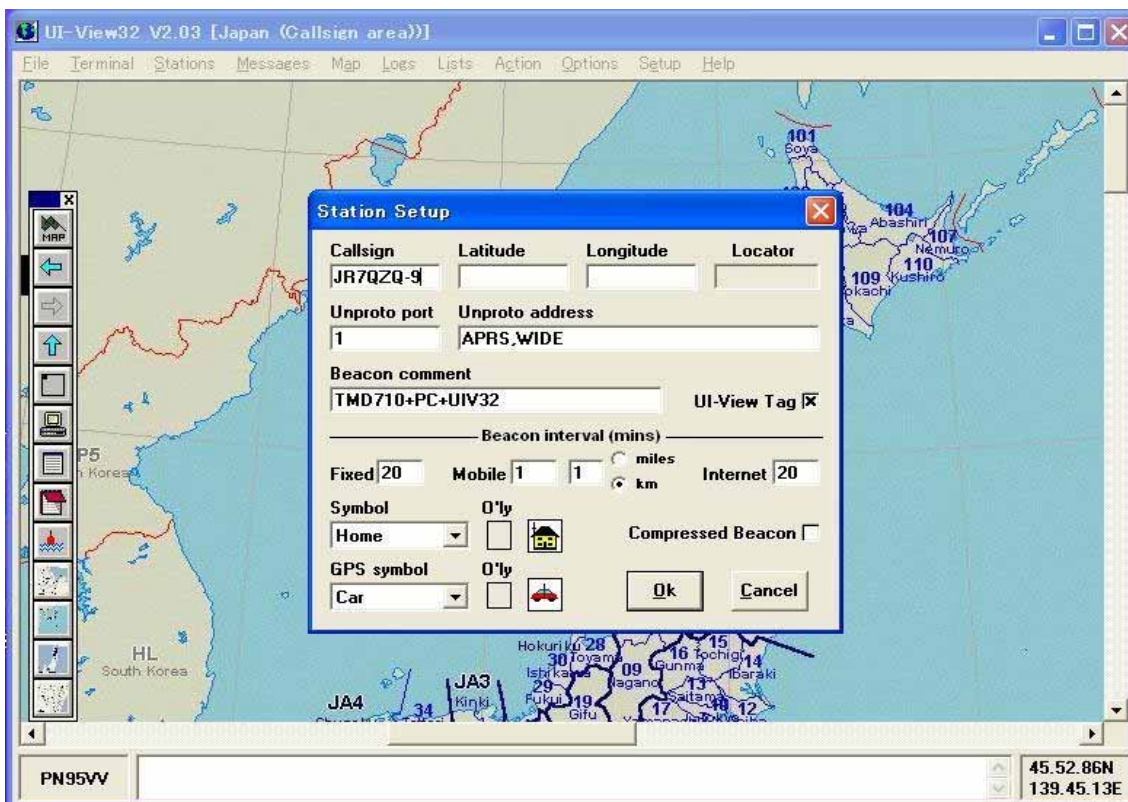
接続ポートのボーレートを合わせる。



- 「Show GPS cross-hairs」にチェック☑をする。
「GPS enabled {F8}」にチェック☑をする。



- 「Station Setup」にて移動時の Beacon 送信タイミングの設定をする
「Unproto address」は、APRS,RELAY,WIDE 等運用場所に応じて変更する。



Ex : 上記は移動時に時間で1分、移動距離で1 kmを超えたら送信する。

3. TM-D710 の設定。

- 1) {MENU} # 528 「COM PORT BAUDRATE」通信ボーレートの確認。
(9600bps)
- 2) {MENU} # 604 「COM PORT」 OUTPUT を OFF → ON。
(COM 端子出力)
- 3) 操作パネル TNC 表示の右側 SW にて「APRS12 モード」から「PACKET モード」
に切り替える (操作パネル 左上の表示が変わる)。
- 4) 運用は TM-D 7 1 0 の設定を先に変更してから、パソコン (UI-View32) を起動
する。
このときに TM-D 7 1 0 TNC モードのセットアップが行われる。
UI-View32 の最下行に進行状況が表示る。

4. TNC Type へ設定ファイルを編集。

TM-D700 を選択し「Edit」で編集モードに入り、下記の様に変更する。

行先頭に「;」を入力しコメント行とする(TM-D700 から TM-D710 に変更)。

編集が終了したら、名前をつけて保存して TM-D710.cmd にする。

UI-View32 を再起動すると、TNCtype のリストに先ほど編集したファイルが表示される。

1) 手順。

Ui-View32のメニュー Setup > Comms Setup > Host mode > 「NONE」 > TNC Type > 「TM D700」 を選択し > Edit > する。

下記のように編集 > 名前を付けて保存 > TM-D710.cmd 拡張子に注意 !!

編集終了後に Comms setup を一回閉じて、再度Comms setupを開き TNC Typeで TM-D710」が表示される。

;This is a sample TNC initialisation file for use with

;the Kenwood TM-D700. を ;the Kenwood TM-D710. に変更。 **リグ名変更**

;TM-D700.ORG will allow you to revert to the default

;version of this file, if you edit it and mess it up!

[SETUP]

;DON'T alter anything in this section unless you are

;sure you know what you are doing!

COMMAND_PROMPT=cmd:

COMMAND_CHARACTER_CODE=3

ESCAPE_CHARACTER_CODE=

CONV_COMMAND=CONV

MYCALL_COMMAND="MYCALL "

UNPROTO_COMMAND="UNPROTO "

NO_BEACON_COMMAND=BEACON EVERY 0

[INIT_COMMANDS]

;^C **この行コメント**

;AI 1!AI 1 **この行コメント**

;;Control mode on. **この行コメント**

;TC 1 **この行コメント**

;;Select TNC PKT mode. **この行コメント**

;TNC 2!TNC 2 **この行コメント**

;;Select band 'A'. **この行コメント**

;BC 0,0!BC 0,0 **この行コメント**

;;Set the frequency to 144.800. **この行コメント**

;FQ 0014480000,0!FQ 0014480000,0 **この行コメント**

;;No shift. **この行コメント**

;SFT 0!SFT 0 **この行コメント**

;;Select data band as 'A'. **この行コメント**

;DTB 0!DTB 0 **この行コメント**

```
;;Control mode off.           この行コメント
;TC 0!cmd:!5                 この行コメント
;;Repeating the first two commands is not an error!   この行コメント
ECHO OFF
BEACON EVERY 0
ECHO OFF
BEACON EVERY 0
DIGI OFF
GBAUD 4800
HBAUD 1200
GPSTEXT $GPRMC
LTMON 10
LTMHEAD ON
LOC E 0
MON ON
MCOM ON
MSTAMP OFF
CONOK OFF
PACLEN 250
UIDIGI OFF
UIFLOOD %
UITRACE %
XFLOW OFF
HEADER OFF
NEWMODE ON
NOMODE OFF
[EXIT_COMMANDS]
LTMON 0
MON OFF
;TC 1                         この行コメント
;TNC 0                        この行コメント
```

参考資料 別冊 CQ ham radio No2 デジタル&インターネット通信
上記参考資料に著作権があり個人で利用する以外は所有者の承諾が必要とある。

以上